

第二回 適性検査型入試 検査1 解答・解説

「問題1」

解答

どの窓から世界を見るのかでいのちの行き先は変わっていく（二十七字）

解説

傍線部1の直後に「みんなさんの未来は実り豊かなものとなり得る」とあることから、人生における「自らの主体的選択」は自分の人生を豊かなものにする、ということが分かる。

文章2は、後半部分で人生を前向きに生きることの大切さや難しさについて述べている。その中で、「より良い方向を見よう」「より良い窓を覗いていきたい」という部分に注目する。「より良い方向を見」ることで「予想もしなかったような楽しくて嬉しい終着駅にたどり着ける」という部分から、「主体的選択」は人生を豊かにする、ということが読み取れる。その部分を参考にし、文字数を踏まえると「どの窓から世界を見るのかでいのちの行き先は変わっていく」という表現が解答部分となる。

「問題2」

今の自分を肯定し自信をもつことで、自由で生き生きとした生き方が可能となるから。（三十九字）

解説

傍線部2の前段落までの内容を踏まえると、自分を受け入れることが「一番生きることを楽しく感じられる」状態であることが分かり、また、傍線部2の前後では、「人間こうあるべきだなんて言うつもりはない」、「正解は世界中、生きる人の数だけある」とあり、自由に考えることの大切さが読み取れる。

この部分が**文章1**でどのように述べられているかを整理する。

筆者は、ニーチェの著作のタイトルは「どのようにしてこの自分を生き抜くか」という問いを突き付けていると述べている。そしてこの問いは「今の自分自身を全面的に肯定する」ことを促すもので、自分を受け入れることで「積極的で力強い生き方が可能」となると述べている。また、「自分に対する確固たる自信と信頼」によって「創造的な生き方を可能と」し、より充実したものになっていくと述べている。

そして、「『このことができるのはわたしだけだ』と認識する」自由について述べられていることから、自由で生き生きとした考え方を持つことの大切さが読み取れる。

これらの内容を踏まえて解答を作成する。

解説

(省略)

解説

条件①の**文章1**・**文章2**に共通する内容については、次の通りである。

- ・どのように生きるかは、自分の選択で決めることができ、その選択によって自分の人生をより豊かにできる。（〔問題1〕の解答内容から）
- ・自分自身を肯定し、今のあり方を受け入れることで前向きに人生を歩むことができる。（〔問題2〕の解答内容から）

①を踏まえて、自分自身の目標を明確に設定し、そのプロセスとして「六年間の過ごし方」を具体的に述べていく。目標の内容を細かくは問わないが、前向きな内容であることが好ましい。

また、そこまでの成長過程については、**文章1**・**文章2**の内容から主体性や積極性を含めた上で、学校生活の過ごし方をまとめていく。